



# フリント



フロアブル 25

メゾステミックパワーで  
確かな効き目



## ワイドな効き目 総合防除殺菌剤

有効成分が植物の表面を徐々に拡散し、植物内部へ速やかに浸透する「メゾステミックパワー」は、優れた残効性と耐雨性を発揮。

各種病害に優れた予防効果をあらわします。

### 特長

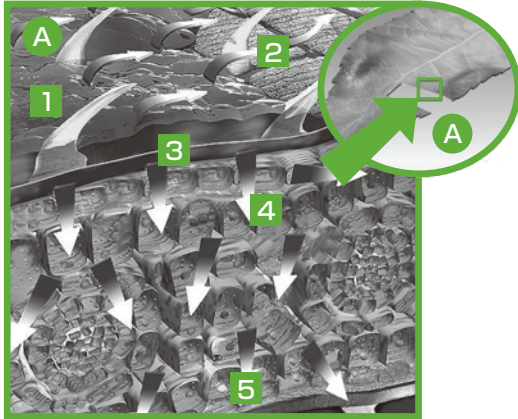
- 各種病害に優れた効果を示す総合防除殺菌剤です。
- 植物の表面ワックス層に速やかに吸収されて薬剤層を形成します。
- 既存の殺菌剤に感受性が低下した病原菌に対しても高い防除効果を発揮します。
- 汚れの少ないフロアブル剤です。



トリフロキシストロピン25.0%

メゾステミックパワー（浸透拡散性）により、優れた浸達性、残効性、耐雨性で安定した効果を発揮します。

■メゾステミックパワー



- 1 葉面のワックス層に吸着  
植物表面ですばやくバリアーを形成し、病原菌からの攻撃を予防します。
- 2 葉面での蒸散作用  
薬液が葉面の一部だけに付着しても、蒸散作用により有効成分が徐々に周辺部に広がっていきます。
- 3 葉面組織に固定  
ワックス層に吸着された有効成分はさらに内部のクチクラ層に取り込まれ、雨に流されず高い耐雨性を発揮します。
- 4 葉内組織への浸達  
クチクラ層に達した有効成分の一部は、さらに葉内へ浸潤し、侵入した病原菌への治療的効果が期待できます。また導管を通じた浸透移行性はないため、一定の高い濃度を保っています。
- 5 浸達性効果  
フイントの有効成分は葉裏にも達し、薬剤が付着しなかった葉の裏面でもバリアーを形成し、安定した効果を発揮します。

■適用病害および使用方法

（2017年11月現在の登録）

作物名	適用病害名	希釈倍数（倍）	10アール当たり 使用液量（ℓ）	使用時期*	総使用回数*	使用方法			
りんご	斑点落葉病 褐斑病	1,500~3,000	200~700	前日	4回	散布			
	黒星病 輪紋病 黒点病 すす点病 すす斑病 炭疽病 腐らん病	2,000~3,000							
もも	灰星病 ホモフシス腐敗病 黒星病 炭疽病	2,000			200~700		前日	3回	散布
小粒核果類 （すももを除く）	灰星病							2回	
すもも	灰星病 炭疽病								
ネクタリン	灰星病 ホモフシス腐敗病 黒星病 炭疽病								
なし	輪紋病	2,000~3,000			200~400		14日	4回	散布
おうとう	灰星病 炭疽病								
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病	2,000~3,000	200~400	前日	3回	散布			
ぶどう	晚腐病 黒とう病	500~1,000			休眠期		1回		

\* 印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

※ その他の適用作物にきゅうり、てんさい、茶があります。

■使用上の注意事項

- 散布液調製時には、ビンを数回振って内部の成分をよく攪拌してから薬量を計って下さい。
- 調製した薬液は、調製した当日に使い切ってください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- 連用は避け、作用性の異なる薬剤と輪番で使用して下さい。
- いちごにかかると薬害を生じるので、かからないように十分注意して散布して下さい。
- 日本なしへの使用の場合、6月上旬までの散布は、新葉、徒長枝に波打ち症状、奇形、着色異常を生じる恐れがあるので、その時期には使用しないで下さい。
- 西洋なし（有袋栽培）への使用の場合、袋かけ直前の散布は果実のサビ症状を助長する恐れがあるので、その時期には使用しないで下さい。
- 茶およびてんさいに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤の加用に当たっては事前にその適否を確認して下さい。
- てんさいに対して希釈倍数400~500倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した葉用型の地上液剤散布装置を使用して下さい。

- おうとうに使用する場合、未展開葉に奇形が生じる恐れがあるので、新葉展開期の散布は避けて下さい。
- りんごの腐らん病に対して使用する場合、生育期における病原菌の感染侵入防止を目的として使用して下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 使用済みの空容器、散布薬液の調製容器、散布器具などは水でよく洗浄し、その洗浄液は灌漑水路、排水路、河川、湖沼、井戸などの水系へ流さず、周囲に影響の無い方法で処理を行い、空容器、空袋等は環境に影響の無いよう適切に処理して下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 散布の際は農業用マスク、不透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社  
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 cropsience.bayer.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00  
土・日・祝日を除く

第4版 (F-2056 17.11.JWT)